フランシスコの町 児童養護施設

フランシスコの町だよ

第46号

平成 30 年 12 月 20 日発行 ₹370-3511

高崎市金古町 830-3 TEL: 027 - 373 - 1021FAX: 027-373-7739



『わたし』 M. T.

れているが備えにこしたことはな

*

見つかった。

ないと大変なことだ。大きな課題 気付いた。トイレや風呂、手洗

しかし生活用水が無いことに 週間くらいストックされて 重要なのは水である。

心配ない。

いる。その他二十アンペアの発電機

あり、薪も十日分くらいあるから

陽光発電を取り入れ、

自家消費し

こだが、これは施設の屋根全体に太

いるから心配ない。火は電気のこ

育てが出来るようお米や野菜を作っ

は何か。それは「水・食料・火

フランシスコは

プの取り付けが急務だと考えて 今後は井戸の掘削により自家用 群馬県は災害の少ない所と言わっの取り付けが急務だと考えてい

みをしているので紹介したい。 では、その備えとして様々な取り 八間が生きるため最低限必要な物 ŋ

フランシスコ

0

組町

頃の備えは

重

村田

で・何が」起きてもおかしくない

害大国日本では、

文男

と見守ります。

真っ赤なほっぺのウサギの思い

日下幸夫

が当番を決めて、毎日施設周辺を散歩 かいただいてきた小さな犬です。職員 かないのが悩みの種です。 ワ犬がいます。前の施設長がどこから していますが、なかなかいうことを聞 私達の施設にはチーコというチワ

ながら開けてもらうのを待っていま え、やさしく佇んでいます。チワワの 青さと草木の緑のコントラストに映 ベージュ色に塗り直した建物が、空の 歩をしていると、その帰り道、施設の にある児童玄関の前でくるくる回り チーコは、一人で階段を上り、その先 そんなチーコと朝の八時過ぎに散

中高生についても休日でさえ施設か せんでした。小学生、幼児はもとより、 ども達の外出は一切許されておりま らは出られない状況でした。 私が勤め始めた平成元年の頃は、子

るかというと、無断外出です。 界は、真上にみえる青い空だけ。子ど 当時の施設は口の字に建てられてい らだったのでしょう。そこで何が起こ も達の気持ちも、まさにウサギさなが ていました。ウサギにとっての外の世 て、その真ん中の中庭にウサギを飼っ

とでしょう。 るのも、今にして思えば無理もないこ 息もつまり、いじめや無断外出が起こ で落ち着きなど無縁でした。これでは ません。毎日が林間学校、という感じ 縦割り(小学生から高校生まで)で六 はなく、一人きりになれる場所もあり 人暮らしていました。今のように個室 当時は平屋の十畳の部屋に、 児童が

う。」と、会議で意見したところ、諸 だった私には返す言葉もありません 何かあったら責任をとれるの?」新任 先輩方から、「そんなことを言って、 童養護施設は外出自由だったため、 「うちの施設でも外出を認めましょ 当時、私が実習をした埼玉県の某児

レス発散となっているんだなぁ・・・ 屋に響きます。それも子ども達のスト く風となり、子ども達の声だけが牛小 お!」四、五度続くと牛たちはどこ吹 また子ども達も大きな声で「も―― お・・・」と大きな声で応戦します。 コースがありました。子ども達は大き の時間でした。その中で牛を見に行く 記しましたが、昼食後のひと時は散歩 出すものなので、牛も「もーーー な牛を間近で見て大興奮。大きな声を 児童(未就学児童)との午後の散歩で した。前回の町だより、四十五号でも そんな中で、毎日の私の習慣は年長

> がら帰ってきます。 間 散歩の帰りは子ども達の合唱の時 私を先頭に子ども達は歌を歌いな

二人がニコニコしながら向かい合っ ホッペタの、キィミとボクう」男の子 て歌います。 の葉っぱがまっかだな・・・真ぁ赤な 「まっかだな、真っ赤だな、ツタあ

られました。

これはいい・・

が流れていました。 とは公園などで、ゆったりとした時間 たその過程が楽しく大切だったと思 純なものでしたが、子ども達や私にと 組や、CM、ダジャレを織り込んだ単 がメンバーでした。今思えばテレビ番 をしていた三人(男の子二人、女の子 の五つに分かれて出し物をしていま 当時は幼児、小学生男女、中高生男女 います。幼児とは散歩の中で、小学生 っては一緒に考えて、悩んで、練習し それとは別にコントをしました。散歩 いてクリスマス会を催していました。 二月にお世話になっている方々を招 した。新任だった私は、有志を集めて 人)を中心として、小学生の希望児 当時からフランシスコの町では、

無断外出等のトラブルも徐々にでは れるようになりました。それにより、 ありましたが、減っていきました。 数年の後、子ども達の外出も許可さ

> り、新しい養育ビジョンが取りまとめ 的養育の在り方に関する検討会」によ 確にされました。そして「新たな社会 子どもが権利の主体であることが明 十九年ぶりの児童福祉法改正により 平成二十八年、昭和二十二年以来六

みたいと思います。 りと腰を据えて子ども達のために臨 が見直され、新たな児童養護施設像が 示され、施設長一年生の私も、しっか 今後、都道府県社会的養育推進計画



あかつきの村、というベトナム難 民や精神障害者を支援している施 紹介をして頂きます。 で活躍している齋藤さんに施設の コの町の理事でもあり、 設があります。今回はフランシス フランシスコの町の同じ法人内に その法人

齋藤

優

あかつきの村

経ちました。心身に障害を持った人が かと今も皆で考え続けています。 施設としてどのようなことができる ナム難民の受け入れ等の事業を展開 です。人間としての存在を大切にする 「場」 としての生活共同体、 またべト 一いに助け合い、協力して生きていく 、今も心の病と向き合っている施設 かつきの村は創設から三十九年

協力してくださいます。 当初は生活資金を得るために始めた のが廃品回収でした。その後不要品や して販売や仕分け等の助っ人として 名近くの方が交代でボランティアと られてきます。その協力者として六十 全国各地から数多くの寄付の品が送 るリサイクルバザーを展開、現在も法 中古品を集めて修理再生して販売す 人の収益事業として継続しています。

型施設は障がい者が職業指導を受け B型事業所を併設しています。このB 以後、グループホームと就労継続支援 祉法人フランシスコの町に加入して あかつきの村は二十三年前に社会福 す施設です。 ながら技術を学び施設外就労を目指

自負しています。 源の有効活用などに貢献していると 内職(タオル封入、チラシ折込)など リサイクル(パソコンや携帯電話など ですが、これらの作業は環境改善や資 除草の請負)、市・県からの共同受注 小型家電の回収・解体)、役務(清掃、 (パソコン、水道メーターの解体)、 (農産物を学校給食用に納品)、資源 ここで行う作業の主なものは、農業

児と家族との交流、スーパーバイザー 主体的に関わっています。公益事業と や社会貢献が求められています。地域 きの村に足を運んでください。 派遣などにも対応しています。 して交流サロン、シェルター、障がい における様々な福祉課題、生活課題に 「百聞は一見に如かず」ぜひ、 現在、福祉事業体には地域公益活動

平和な世界を望むなら それが平和の出発点 悲しむ人に出会うこと あなたが心から

(創設者石川能也神父)

山田昇記念財団様により

「自然体験会」招待



高崎北ライオンズクラブ一日里子

ろなきれいな石がおちていました。また行 きたいです。 年も食べたいです。じんじゃでは、いろい が一番おいしかったのはパンです。また来 BBQはすごくおいしかったです。 わたし スは少しこわかったけど楽しかったです。 先日はありがとうございました。サーカ

ろいろなところとかごはんも楽しみです。 サーカスのバレリー じんじゃの話はとても勉強になりました。 三年生だからあと三回行けます。またい ナみたいのになりた Hより



軽井沢おもちゃ王国様による 「おもちゃ王国」 招待

TRUE PROJECT様による **NPO法人 DREAMS COME** 「ディズニーランド」 招待



30 年度前期 施設行事







7月~8月 各棟別 夏の生活訓練





9月22~24日 小学生 赤城キャンプ2泊3日









10月13日 稲刈り

11月3日 収穫感謝祭

施設対抗サッカー大会、施設対抗ソフトボール大会、 みんなよく頑張りました!!

結果は…いま一つでしたが… 来年こそ、目指せ!優勝!!











子ども達の安心・安全のために・・・

エンパワメントぐんま研修会 7月23日実施

権利擁護委員会主催で、エンパワメントぐんまの3名の方に来ていただき、子ども達の権利「安心・ 自信・自由」について職員、児童共に学習しました。子ども達は、自らの体と心の安全を守れるように訓練も行いました。







高崎警察署•不審者訓練 11月1日実施

高崎警察署のスクールサポータ―の方2名にお越し頂き、新任職員が不審者の制圧までの訓練を行いました。

今後も施設内の危機管理委員会のもと、継続して訓練し、子ども達の生活を守っていきます!







平成 30 年度 行事予定 (12~2 月)

12月 司厨士会食事慰問…県内のコックさんが来て、美味しい料理をご馳走してくれます。

クリスマス会…主キリストの生誕をお祝いしま

1月 どんど焼き…新しい年を迎え、一年間健康に過ごせるようたき火をします。

苦情解決報告

平成30年度の苦情解決(平成30年11月30日時点)

苦情・要求件数 17件 (保護者1件・職員0件・地域住民0件・児童 16件) 内容 施設設備 2件 職員資質 2件 施設生活 13件

これまでのところ、全 17 件中 16 件と大半が児童からの苦情(意見・要望)でした。このように出された苦情、意見を月に1回(主に第 2 土曜日)、外部より第三者委員 2 名(元教諭、地元の主任児童委員)を招いて苦情解決委員会を開催し、対応を協議しています。結果を事務室前掲示板に張り出すとともに当事者には担当者から個別に伝え、苦情解決に当たっています。



皆様の善意に感謝いたします

(平成30年6月1日~平成30年10月31日までに頂いたものについて)



寄付金を下さった方々(順不同、敬称略)

奥野彩子、田中眞理子、群馬県遊技業協同組合 更生保護女性会倉渕支部、その他匿名の方々

寄贈品を下さった方々(順不同、敬称略)

岩田養鶏場、奥野彩子、エンパワメントぐんま、 更生保護女性会、倉賀野町桜木区、倉賀野地域 づくり活動協議会、狩野政弘、山口晋二、高橋 利一、マルハン、コストコ、片足長おじさん、 角田、フィリップモリス、タカセン、ビューホ テル、浜名、佐々木、明治安田生命、アサヒ飲 料株式会社、清水インダストリー、品川きよみ、 横手俊夫、友松由一、その他匿名の方々

ボランティアの方々(順不同、敬称略)

学習支援: 桜井正彦、斉藤裕恵、宇治田小百合、

山口正義

読み聞かせ、遊び:群馬県青年赤十字奉仕団、

田端紀美子、大野幸子、明治安田生命群群馬支社 学生ボランティア:佐藤栄太(群馬医療福祉大学)、

関健矢(群馬パース大学福祉専門学校)、

髙山梓 (明和短期大学)、若林可菜、清水一磨







ざいます。ぼくは、 本当にありがとうござ とアイスクリームがすきです。 こちそうを作ってくれて

おりのちょうこくを作ってくれてありがとうござ の日曜日に来てくれてありがとうございます。 そがしいところきてくださってありがとう 毎年十二月はじめ





のランドセルを手にすることが出来ました。 おかげさまで今年もすべての小学生がピカピカ ランドセルの寄贈をして頂いているモギ 今年もランドセルを頂きました。













ありがとうございました。



編集後記

段々と日が短くなり寒くなってきました。街が クリスマスのイルミネーションに彩られ、子ど も達はクリスマス会の出し物を何にしようか 頭を悩ませています。今年も残りあと少し。身 体の調子を整えつつ、良い年を迎えられますよ うに。Merry Christmas! (櫟)

フランシスコの町では随時寄付・寄贈を受け付けています。 寄贈品についてですが、子ども達の好みに合わせたものを購 入させて頂いております。ご寄贈頂ける際には、電話でお問 い合わせくださいますよう、お願い申し上げます。皆様の温 かいご支援をお待ちしております。

ご寄付金お振込先…銀行:ゆうちょ銀行

振込先:00380-2-17094 名義:フランシスコの町 友の会